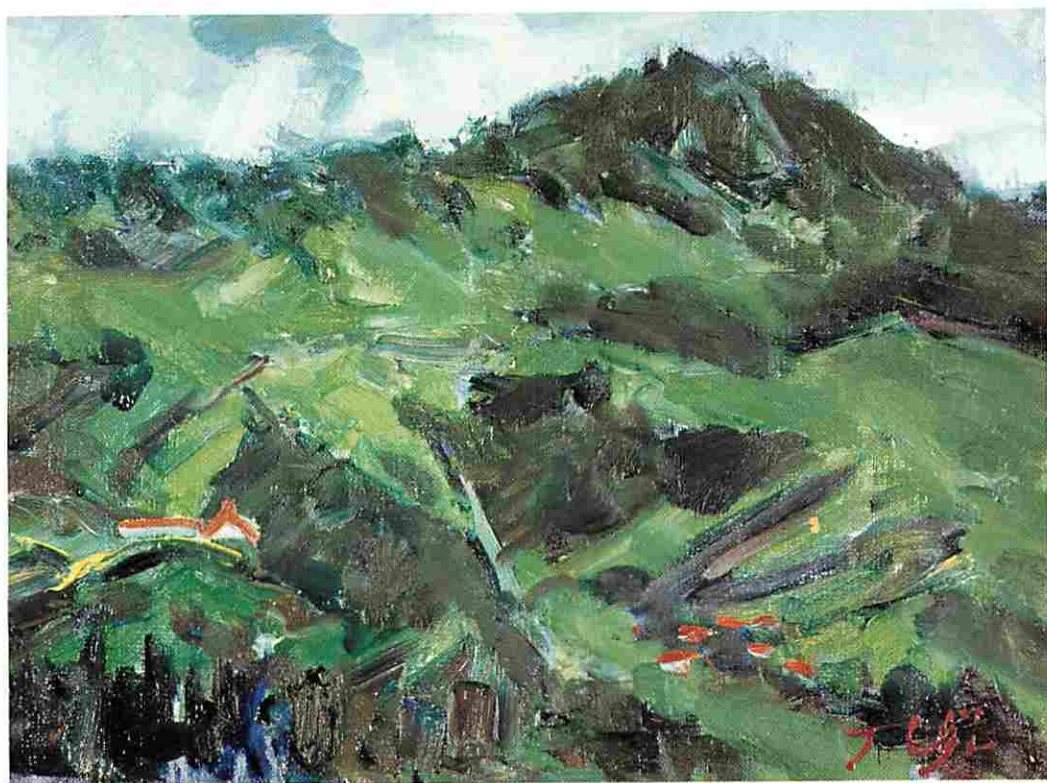


熊本市歯科医師会会誌

第 35 号



1981. 2

*
*
* 表 紙 の 言 葉 *
*
*
*
*
* 今回の絵は宇治寿康先生から頂き *
* ました。 *
*
* ゴルフをされる先生方の中には、 *
* 見覚えある景色だと思います。 *
*
*

目 次

勉強部屋

○安全有効な歯科処方について

日大歯学部 田村豊幸教授講演より 学術委員 緒 方 義 昌 2

○3M研究発表会に参加して 学術委員 元 島 博 信 6

本日休診

私と剣道 剣道教士七段 山 田 博 徳 8

茶 の 間

刀工偶感 金剛兵衛源盛高 盛 高 靖 博 11

「私の初夢」(歯科未来学) (東部3) 岩 村 泰 行 16

委員会活動

バレーボール大会 厚生委員 田 島 宗 穂 18

秋の歯科無料検診 口腔衛生委員長 関 剛 一 23

作業部屋

昭和55年度 社団法人 熊本市歯科医師会 臨時総会報告 27

熊本歯科臨床集談会 集談会会長 岩 村 泰 行 29

安全有効な 歯科処方について

日大 田村豊幸教授講演より



学術委員 緒方義昌

現代社会において、薬は必要かくべからざるものとなってきています。しかしその反面薬物の副作用である、ショックならびに催奇形性等の問題も益々多くなって、重大な問題となってきているようです。

我々歯科医において安全有効な処方を知る事は非常に重要な事です。

今回は薬物に造詣の深い日大の田村先生のお話をお聞きする機会を得ましたので、それらの講演の中より少しまとめてみたいと思います。

我々は、薬物の副作用の予知つまり歯科医師の義務として、危険発生を予見する義務と回避する義務があります。

これを犯せば、業務上の過失となり、事故が発生したとすれば歯科医師免許取消まで、発展する事もあるでしょう。又薬物の勉強が面倒臭くて処方しないため病状が良くならなくても歯科医師の責任となります。

したがって抜歯を局麻で行う時も患者の既往歴と全身状態を十分に問診し、血族についても特異体質がないことを確かめて、カルテに記載し、抜歯について患者の承諾書を取っておかないと、医事訴訟の際不利となる事を心に留めておくべきであります。

ふだん元気な患者を抜歯ぐらいと安易な気持ちで行い、事故を起こすと医師の親切心は一転

し、殺人犯人扱いを受けることを胆に銘じておくべきでしょう。

そして、医師として救われるのは、既往歴と救急蘇生の記録のカルテと、死後必ず解剖をしておくことによるのみ、自己の正当性を主張できるのであり、さもないと億に近い賠償金を支払わされることになります。

そのためにカルテに記載しておくことが、非常に重要であります。

我々が特にこまるのは、肝及び腎障害のあるものと妊婦ではないでしょうか。女性を見たら妊娠を考えろとある本に記載されているのを見た事がありますが全くその通りだと思います。やっかいなのは、女性の妊娠がわかるのは、受胎後2ヶ月目であり、又催奇形性の最も危険な時期が妊娠初期三ヶ月までであり、このため妊娠可能な女性に対して投薬する場合、催奇形性のない薬物を選ぶのが安全であると思われます。

現在全国的に奇形を起こす率が多くなっています。しかるに副作用の予知をはかる事は非常に重要な事です。

ひとつここで注意すべき事は、我々が投薬したもの以外（売薬及び、他の医院での投薬）で、妊娠に対して、奇形を起こす物がある事を知っておくべきだと思います。又、アルコール中毒の妊婦に先天的異常が多くなっている事で

す。L.S.D.による奇形、売薬による解熱、鎮痛剤の服用により短指症が増加しています。

このため患者の来院時、アフター、薬疹様の物等のある場合、来院以前にいかなる薬物を使用したか、又他院にて投薬を受けていたか、知っておく事は、非常に重要ではないでしょうか。

仮に薬事紛争が起こった場合、弁護士が患者について、原告側は今の段階での歯科医師の薬に対する知識についてを問題としていますので紛争の薬物を現在どの程度まで知っているかが重要であります。これには日本歯科医師会雑誌の『厚生省からの情報』を知っておくと有利であると思われます。

ここで田村先生による、さしあたって催奇性がないと思われる抗生物質とそれらが有効な傷病名をあげますと第1表となり、又妊婦にも安全な抗炎症剤として、アナナーゼ・ダーゼン・プロメラインがあります。

又妊婦の肝・腎・血液を考えて、なるべく副作用の少ない配合を目標とした抗生物質と抗炎症剤の処方として第2表があります。

肝・腎の弱い成人男子の手術後二次感染に対する処方としては①アセチルスピラマイシン・Tab 200mg・6 Tab、②術後の止血剤と肝・腎に副作用を起こさない抗炎症剤として、ノイチーム Tab 30mg 1回2 Tab・1日3回、非ピリン系の鎮痛剤が必要なら、メブロン2 Tab・3×1、又頓用1回分2錠があります。

又現在感染症で多い菌は緑膿菌、溶血性の連鎖球菌、ブドウ球菌、連鎖球菌等がよく見られるようになっていきます。

さらに抗生物質及び局所麻酔剤のショックの基本は毛細血管のうっ血であり、組織の酸素不足により末梢血管が収縮するし、あわせて全身の動脈の収縮がおこるので、血管の拡張を計るのがショックの治療となります。

具体的には、1) イソプロテノールによる血管の拡張を計り、副腎皮質ホルモンによって、心筋の収縮をおこし、又応急処置としてはスーナーL、プロタノールLの注射があり、副腎皮質ホルモン、ソルコーテフ及びデカドロン注射等があらゆるショックに応用できるものであり、輸液(血管の確保)、輸血、ビタミンの投与が必要となってきます。

ここで薬物の安全な投薬を行うには、田村先生の著書である『安全有効な歯科処方』等を参考にされれば、日常の臨床の強力な助けとなると思います。

今回の田村先生の講演から我々が教訓としなくてはならぬと思った事は、薬物はすべて安全とは限らないし、又個人個人によって薬効も異なるようです。(例えばある種の鎮痛剤により、逆に頭痛がおこる等。)その任務にあたって、充分注意し、起こりうるであろう薬事紛争等でも落度がないようにしておく事が必要であると痛感しました。



第 1 表

成人女性歯科患者の処方

さしあたって、催奇性がないと思われる抗性物質と、それらが有効な傷病名

	歯 肉 膿 瘍	急 性 顎 炎	顎 骨 周 囲 炎	智 歯 周 囲 炎	歯 槽 骨 炎	歯 肉 炎	顎 骨 膜 炎	顎 骨 髄 炎	歯 根 周 囲 炎	歯 槽 膿 瘍	抜 歯 後 感 染	歯 根 膜 炎	急性根端性化膿性歯根膜炎	急性辺縁性化膿性歯根膜炎	顎 放 線 菌 症	関 節 炎	術 後 感 染	頬 部 膿 瘍	嚢 胞 感 染 症
パセトシン(協和)	+	+	+	+	+														
デラシリン(三共)	+	+	+	+	+														
チタシリン(万有)	+	+	+	+	+														
サワシリン(藤沢)	+	+	+	+	+														
ワイドシリン(明治)	+	+	+	+	+														
クラモキシル(ビーチャム)	+	+	+	+	+														
アモキシリン(藤沢)	+	+	+	+	+														
ケフレックス(塩野義)			+	+	+	+	+	+	+										
シンクル(東洋)			+	+	+	+	+	+	+										
セポール(鳥居)				+	+	+	+	+		+	+	+							
センセファリン(武田)				+	+	+	+	+		+	+	+							
ソルシリン(武田)				+	+					+	+		+	+					
オーテシン(協和)				+	+					+	+		+	+					
アミペニックス(東洋)				+	+					+	+		+	+					
ビクシリン(明治)				+	+					+	+		+	+					
サイシリン(山之内)				+	+					+	+		+	+					
ベントレックス(万有)				+	+					+	+		+	+					
シンベニン(三共)				+	+					+	+		+	+					
トータシリン(ビーチャム)				+	+					+	+		+	+					
ドミシリン(大日本)				+	+					+	+		+	+					
ペンブリチン(藤沢)				+	+					+	+		+	+					
アセチルスピラマイシン(協和)		+		+	+						+				+				
アイロタイシン(塩野義)				+													+		
ジョサマイシン(山之内)	+	+		+	+		+			+		+				+	+		
メデマイシン(明治)	+			+	+		+			+	+	+						+	+
ルビマイシン(日研)	+			+	+		+			+	+	+						+	+

(+印は有効性を示す)

第 2 表

成人女性歯科患者の処方

妊婦の肝・腎・血液を考えて、なるべく副作用の少ない配合を目標とした、抗炎症剤と抗生剤の処方を求めると、こうなる。

		肝	腎	骨髄
抗炎症剤	ノイチーム（止血剤として）	○	○	○
	バリダーゼ	○	○	—
	ヤギフラキシン	○	—	○
抗生剤	マクロライド系	アイロタイシン	○	○
		ロイコマイシン	○	○
		アセチルスピラマイシン	○	○
		メデマイシン	○	○
	セファロリン系	セファメジン	—	—
	ペニシリン系	スタフシリン	○	○
		バストシリン	○	○
		シンシリン	○	○
		クルペン	○	○
		オラシリン	○	○
		サワシリン	○	○
		その他		

（○印は安全を意味し、—印はそうでないことを意味する）

3 M 研究発表会に参加して

学術委員 元 島 博 信

11月8日(土) 9日(日) 博多明治生命ビルホールにて、3M会員発表会(西日本デンタル3Mリサーチグループ主催)が行われた。

3Mは九州山口地区にあるスターディグループの総括的存在で色々な先生方で構成されている。国内国外の有名な先生はほとんど九州に呼び講演をしてもらったその実績は、創立9年目会員500名(熊本県48名)となり、日本でも有数のグループへと成長しております。

その研修実績をふまえ、ここで育った若い会員を中心として研究発表会が企画されました。私は学術委員会の先生方といっしょに参加し、演題も出しましたので感じたままを述べてみたいと思います。プログラムは次の通りでした。

発表者とテーマ

第1日

- ・鹿児島県 長谷川 清 「日常臨床の自白」
- ・ " 鶴丸 高久 「気持よく診療を行うために」
- ・福岡県 清野 尚 「歯科臨床写真撮影法(美しい記録を残すために)」
- ・宮崎県 土田 孝男 「私の歯周治療」
- ・福岡県 小川 孝二 「M・K・G, Myo-Monitorを使用した2, 3の症例について」

第2日

- ・大分県 谷口 英昭 「前歯部ポーセレンの一臨床例の製作過程」
- ・福岡県 中野 充 「Free gingiva graft の臨床例」

- ・長崎県 本多 直樹 「歯内療法の実際と予後について」
- ・福岡県 山本 展理 「充填」
- ・ " 田窪 雅宣 「歯内療法に関する2, 3の考察」
- ・熊本県 元島 博信 「人類の歴史からみた歯と顔貌」
- ・佐賀県 古賀 信紘 「私のペリオ」
- ・山口県 緒方 哲郎 「最近の歯科インプラントの動向について」

発表の中で印象に残った先生方の講演を述べてみますと

・鶴丸先生(鹿児島)

「気持よく診療を行うために」

それはそれはすばらしい講演でした。どんなお金を出しても講習会屋といわれるような先生からはこんな本音の話は聞けるものではありません。

自分の診療所でやっておられることを何のためらいもなく、淡々とさらけ出しておられました。内容は自分が気持よく診療出来るということは良い仕事出来る第1条件である。そのためには受入れる我々の側も患者も、その条件になる様な環境を作り出すことである。そして患者の意識のレベルアップ、つまりデンタルI.Q.を高めることが一番大切でしかも近道である。

その高め方であるが例えば金門橋の写真を用いてのエンドの話、火事現場や堤防の写真を用いての補綴やペリオの話とかいったすぐにも役立つ工夫の数々を教示されました。

・「メデカルニコールでの写真撮影法」清野先

生（福岡）は、プロの写真家が求める様なすばらしいスライドで凝りに凝った色彩の美しさは聴講者の心をうばいました。だから後で発表された先生は一つ一つスライドのまずさに断りを入れてやらねばならぬはめになりました。先生は光の文法を知って欲しいと言っておられました。

。本多先生（長崎）はエンドの話でしたが、症例の多さとそのエネルギーな行動に感服いたしました。

側枝根充を色々のタイプで見せてもらいましたが、側枝の位置として前歯の、①近心②遠心③近遠心、臼歯部の根尖部と分岐部に近い場合とそれぞれきれいな側枝根充を供覧されました。

臼歯部三根管拡大法で、川型かカーブ型かという問題では、より象牙質を残せるということからカーブ型が良いと思うと言われ、田窪先生も後の講演でこの意見に賛同されておられました。

。田窪先生（福岡）

エンドの考察という演題でしたが、聞いている人をドキッとさせる鋭い講演でした。内容は国際的レベルで外国のどこへ持っていっても通用する中身であろうという評価を受けておられました。日本の大学の先生がいかにいいかげんなことを行い、言っているかを実験的に示されその学問に対する厳しさと造詣の深さには尊敬の念さえ持つものでした。

根充法は、ラテラルコンデンセーション法でもないオピアン法でもない、独自の電気メスの電源を利用した根充法を紹介されました。

（講演交渉中）

他に土田先生（宮崎）中野先生（福岡）古賀先生はそれぞれペリオ症例を報告されましたが、ペリオはみごとな報告が相つぎました。ブラッシング、スケーリング、固定といったお馴染みのものから、遊離歯肉移植術、歯肉側方移動術、歯

冠側移動術、根尖側移動術、インプラント、M.T.M.といったものまで熱心な報告に誰れも席を立つものなく最後まで真剣な態度がうかがわれました。

私の報告も後日講演依頼が舞いこんだことから内容には満足しています。

雑感

今回の発表者は田窪、緒方両先生を除くと30～40才代の若手の先生ばかりでした。そして必ずしも都市部で開業されているのではなく地方の先生方も多かった様に思います。それでもこんな高いレベルでの講演が行われたのは驚きであり、刺激的でありました。

研修を受け自分のものとして消化し得るためには非常な努力がいります。その労力を惜しまず努力されている先生方には頭が下がります。歯科医療の中でもいろいろの生き方、考え方、やり方がありこのレベルでの治療をストレートにすべて良いと言う訳にはいかないかもしれません。

しかしきびしくなりつつある歯科界の中で自分は生き残ろうという意識と自信が、努力と研鑽を生み、この様なすばらしい発表という形で表われてきたものだと思います。

これが80年代のめざす道ならばズボラな己の心を励ましながらも「勉強やらにやいかん」と感じました。

今回は九州各県のレベルを知り自分への指針を与えてくれた、そんな気がする発表会でした。

3M ハワイ 研修会のお知らせ

3Mでは海外研修会をホノルルで行うことに決定いたしました。3M会員でない方でも参加出来ますので多数の参加をお待ちしています。

日時：56.8.13日(木)～18日(火)（福岡発着）

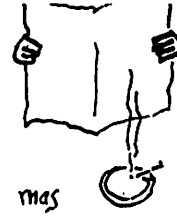
会場：ハワイ大学 他

内容：補綴、矯正、ペリオ、エンドなど

資格：歯科医師、歯科衛生士、家族

費用：約25万円

本日休診



私と剣道

剣道教士七段 山田博徳

私が剣道を始めて24年になる。小学生のとき、なんととはなしに始めた剣道が社会人となった現在まで生活の大部分を占めてきた。

剣道は体調第一だから草煙は喫わず、凝り性でヤミつきになるからゴルフ、マージャンなどもやらない。そして無我無中で稽古に励んだ結果各種の大会に出場し優勝することができた。

これまで幾度となく、敗れた時のくやしさを噛みしめ、何度かは優勝の感激を味わうこともできた。中でも全日本剣道選手権大会、世界剣道選手権大会での優勝など大きな夢を実現することができた今日、自分ながらに運のいい男だと思っている。

もちろん優勝すること、強くなって試合に勝つことだけが剣道修業の目的ではないが、強くなるためには、人一倍の稽古をやり、体力、技術と、ともに心を鍛え、いろんな障害を克服しなければならない。

私の場合は、これまでの大きな大会での優勝がステップとなり心、技、体、とも飛躍することができたと思うし、今後も更に大きく飛躍したいと思っている。しかし、このような現在でも「剣道とは何ですか。何のために剣道をやるのですか。」と真正面から聞かれると答えに窮する。

剣道を学ぶことによって心身を鍛錬し、人間形成に寄与する等、全日本剣道連盟で定めた剣

道修業の目的、剣道の理念どおりに言切ることができないのである。

「私ども修業者は草芥に在って黙もくと聖賢の道を求めることこそ修業者の態度と存じます。……廃退しつつある世相を伺うとしても立て直そうとの一念で精進はいたしておりますものの、甚だ道は遠く日夜呻吟しておりますので後世に残すような顔には至っておりません。優秀な門下生もおりません。一生のうちに一人でも推奨できる門人を育てることが念願でございますが……」

これは先程まで警視庁の剣道指導者としては最高の地位で主席師範の席におられ数々の名選手を育成されたある先生が、剣道雑誌に投稿された時の一部分である。

人生60余年の大半を剣道修業に打込み、現在では名実共に剣豪と言っても決して過言でない、この先生の、おのれに厳しい剣の心を見るとき、また先日稽古をお願いした範士九段で日本最高の地位におられる、ある先生が「今年喜寿を迎えたけれども最近になって剣道が少しわかってきたような気がする。」と話されたことを耳にするとき、若輩の私などが「剣道とは」等と答えられないのは当然かもしれない。

このように剣道とは奥行きが深いもので、これからの私にとって苦しく永い永い終着駅のない剣道であるが、これまでに数多くのことを学

ぶことができた。一つは

発明家エジソンは「およそ小人の常として、大きな事を怠り、でき難いことを憂えてできやういことを務めない。それゆえに一生大事業を成就することができない。大きな事業を成就しようと思うならば、小さなことを怠らず勤めなければならない。小が積もって大となるからである」と言っている。

剣道には「コテからメン」などの連続技があるが、これはコテ、メン、一本一本を正確に打てなければ二段打ちの効果は少ないのである。スピードだけで「コテ、メン」と打込むのではなくコテの攻撃に対して相手が精いっぱい防ぐから相手のメンに隙ができ、「コテ、メン」の連続技が成功するのである。このように、剣道の基本技、すなわちコテ、メン、ドウ、ツキ、を正確に打突できることは最も大切なことである。これまで稽古量などのハンディ不足を補うために

基本技に徹してきた私の剣道を考えると、エジソンは「剣道は基本に忠実であれ」と言っているようにも思える今日である。

もう一つは、「目の前のすべての物事に全力を尽せ」ということである。

勝負をする時は「火のような闘志」と、「無心」になることが最もである。なぜなら、心が乱れることにより激しい稽古を通して修得した技や勘を十分に発揮することができないからである。

最近「どうしたら試合に勝てますか。」という質問をよくうけるので、ある道場で、「絶対に試合に勝つ方法を教えよう」ということでお互いに相手をつくらせ、片方に面を打込むように、また、片方には相手は必ず面を打ってくるから胴を抜けと指示した。相手が面にきたら胴を抜けば勝つ事はわかっているけれども、それ

は理屈であって、なかなかそうはいかないのが剣道である。やはり胴を抜いたものはほとんどいなかった。剣道は理屈ではなく稽古に稽古を重ね体得しなければならないことを強調したかったのである。

私は生来無器用であり、また運動神経が特に発達しているということでもなかったので稽古だけは人の二倍も三倍もやった。自分が稽古を怠れば、もちろんそれだけ遅れる、全国のどこかには自分より努力している人がいるかもしれない、その人に負けてはいけない。このよ



世界選手権優勝時

うに、仮想のライバルを作ることによって、自分の体力の限界に挑戦するなど、自分自身と闘い、そして己に克つ心を養い稽古に励むことができたように思う。

私の今までの経験から言わせてもらえば、人並の稽古では人並にしか強くならない、人並みはつねなければ人より強くならないということは本当ではないだろうか。

やはり一日一日が勝負であり、毎日の稽古で人より以上に悩み、苦しむことが上達の極意だ

と思うし、イザ勝負となったときに、「これだけやったんだ」という気持から、無心が生まれると思う。

また「われ、事において後悔せぬためにも、すべての物事に全力投球することが如何に大切

であるかということを改めて認識している。

何日の日か、「剣道とは」と言えるようになることを信じて、遠く険しい剣の道を求め更に稽古に励みたいと思っている今日である。



刀工偶感

八代市宮地町妙見宮下

金剛兵衛源盛高 盛高靖博



ええ、刀の話ですか、どうも牧野先生、刀を作る方なら自信がありますが、話となるとね、失礼しました、まず御あいさつの方、自己紹介を簡単にさせていただきます。

刀工金剛兵衛源盛高、八代移住第十二代、盛高靖博でございます。大層仰々しい名前で御座

居ますが、何しろ先祖代々鍛冶を受け継いできました名前ですから、いたしかた御座居ません。何とぞ御見知りおき下さい。さて私共は、現在八代市宮地町、九州三大祭りの一つとして名高い妙見宮のおそばに住んでおりますが、元を正せば、筑前大宰府の鎮守として開基された、金剛界宝満修験道霊場を兵衛する念願で、金剛兵衛盛高となえ、鎌倉時代からこの聖地で守護剣を鍛え始めたと云伝えております。いまでも「金剛兵衛剣の窟」鍛冶場跡、焼入水の井戸、が大切に保存されております。猶日本の刀鍛冶の墓では、最も古くて大きいと云われる、初代金剛兵衛盛高正応の石塔も土地の方々の信仰で大切に祀られております。又正平13年8月三代目盛高の一族50数名が、筑後川の戦いに、征西將軍懷良親王に従い、足利軍と戦った事は、代々の誇りとして伝承されております。「大平記」にも記載されております。この様に南朝方について九州各地の親王方の為活躍して参りましたが、その後親王方の敗北で金剛兵衛一門の鍛冶が、九州の各地に離散し拡がる結果となったわけです。九州の刀工に多い「源盛○」とか「源○盛」、「源高○」と云った様な銘の刀工は、金剛兵衛一門の流れを汲む者と御考え下さって結構です。ここで一寸「刀鍛冶」についてお話しいたして置きましょうか、一口に刀鍛冶

と申しまして、まあたとえば、新刀と呼ばれる江戸時代、又現代の様に刀剣工芸家又は、そうですね、工芸美術家ですか、その様に刀だけ打っているのは、ずっと近世のことで、古い時代には刀、鎗、薙刀、だけではなく斧、鉈、鎌、庖丁、又は一番消耗する弓の鏃等、なんでも作り、まあ現代風に言えば、兵器メーカーとか、あるいは鉄器産業KKとでも云ったほうが宜しいかと思います。国宝級の栗田口吉光が、釘も作ったと云われる様に、各地に鍛冶集団があり、ひとたび天下動乱と成るや、権力者達は、こぞってこの集団の協力を求め、又たとえ平和な時であっても、手厚く保護し武器だけでなくすべての鉄器類を作らせたものです。特に九州の古刀期の刀鍛冶は、「豊後の僧定秀、その子で、後鳥羽上皇の御番鍛冶をつとめた「行平」薩摩修験道谷山の「波の平行安」一門、「三池典太」私方の遠祖古筑前「良西、入西、博多談議所西蓮法師」等すべて真言、天台密教の山岳宗教の学僧、修験鍛冶であります。鎌倉末期から南北朝時代には、筑前の左、金剛兵衛一門、肥後の延寿、薩摩の波の平、豊前、豊後に、鍛冶集団がおり時の権力者の兵器を作っておりますが、初代から代々豊満山を本拠として山岳登拝の修験道と、大宰府守護の刀鍛冶を守り信仰に結ばれた、金剛兵衛一門は特に大きな勢力を持って居りましたので、我が国が真二つに分れた南北朝時代、懐良親王兩朝方について戦った事は、可成り古い時代から派生した、山岳宗教すなわち、修験修法集団と朝廷が、何らかのつながりがあったのではなかろうかと、私は推察しております。

南北朝合一で、室町時代に入りますが、この時代から修験道が大変盛んに成りましたが、この頃の先祖の刀は特に修験道の信仰が強く表現され、鋭利な斬れ味と共に刀そのものを、斬られた者の成仏を祈る「卒瑤婆」として、刀の

「中心」の先をソトバ形にしております。昔から「金剛兵衛の卒瑤婆中心」と云われ、代々この型に作るのが掟とされております。この様に代々信仰を中心にして刀を鍛えて参りましたが、戦国末期キリシタン大名の大友が、宝満山の聖地を襲い、この戦火で寺院、堂塔が焼亡し、南朝方の敗北時代以上の被害を受けましたので、九州各地の修験霊場を求めて離散したのでございます。金剛兵衛の宗家がこの八代に参りましたのは、云い伝えによりますと、私から十二代前、旧妙見宮の宮司坊神宮寺、明治初年廃寺と成り今では宮地小学校の校庭と成っておりますが、この神宮寺の社僧兼鍛冶として、妙見宮のおそばに住宅をいただき、色々の変遷はありましたようですが、代々祖先の訓えの通り鍛冶を守り続けてまいりました。日本最初の妙見宮と云われ、修験修法に妙見の院として、御祀りしており猶、懐良親王の御墓も近くにあり、神宮寺で御位碑を祀って居りますので、この古い因縁に引かれこの様な安住の地に移住してきたのであらうと、有難く感謝しております。

さて「刀」すなわち「日本刀」は正に、日本の文化が生み出した世界最高の、鉄の工芸美術品であると云われておりますが、ここに至るまでには、幾多の変遷があり、又先人の多くの苦勞があったわけです。時代々々によって異なる要求を満たすために、刀工たちは随分と苦心してまいりました。そしてその事により、世界に誇る数々の名刀が生まれたのです。刀の歴史又刀の見方等につきましましては、多くの優れた本がたくさん出ていますので、どうかそちらの方を、興味をお持ちの方は御覧下さいまして、是非日本刀の素晴らしさを味わっていただきます様お願いいたします。さて、今日では刀は、ほとんど美術品又は骨董品的なニュアンスで御鑑賞いただいておりますが、もともと簡単に申し上げますと、刀とは人を斬るための道具つまり武器

の一種にすぎません。この単純な武器が何故この様に、色々な意味でやかましく評価されるのでしょうか。私、作る立場から色々考えてまいりました。金剛兵衛一門の作ります刀は実戦に主眼を置き、戦闘の際によく斬れしかも折れず曲がらずという日本刀の原点に従い、降魔の剣として作り、その上動乱の時代においては、斬られた者達の成仏を祈る卒俗娑の剣として、信仰に徹した刀を作ってまいりました。ですから、たとえば元禄年間の装飾的な、見せかけの美しさを表現した「助広」とか「一等子」等の華美刀とは、本質的な違いがあります。ここでぜひとも皆様方に御理解いただきたいのは、刀の持つ美しさとは決して意図的に作り出されたものではなく、先程申し上げました様に、よく斬れ、しかも折れず曲がらず、という基本的条件がある場合にはコストを無視して徹底的に追求した結果、生まれたものであります。そうですね、まあ「用の美」とでも申しましょうか、いわば刀工の方から美しさを強制するのではなく、見る人が美しさを感じるとる美しさとも云えるでしょう。さて、大変不思議な事に、この様な素晴らしい日本刀は、いわゆる神代時代の真直な剣から次第に改良発達し、約千年の歴史を持っていますが、世に名刀として絶体的な評価を認められているのでは、およそ平安末期から鎌倉時代にそのほとんどが集中しています。一体これはどういう事でしょうか。確かに時代の背景、つまり武士団の発達といった様な事もございましょうが、私は次の様に理解いたしております。それは、我が国は古来より外国、多くはお隣の中国よりいろんな文化や技術を学んてまいりましたが、平安時代頃から鎌倉時代にかけて、独特の日本文化を完成させ、ましてこの事が外国文化、たとえば唐様といった様な感じのものを消したり、日本人が日本人の心で日本のものを作り始めたと考えています。



確かにこの頃のものを見ますと、刀は無論の事、鎧や兜、衣服や建築、彫刻、絵画、文学等どれをとりましても、まさに日本文化そのもので、しかも世界に誇りうるものと誰しも認めることとございましょう。刀工たちも又、当時の先進国であり大国であった中国に負けるものかとの「気概」を持って、あの様な数々の名刀を世に送り出したのでございます。さらに又驚くべきことに、日本刀は世界の武器の歴史の中で、只一つの守りの為の武器であります、武器の本質は攻撃にあります。ましてその目的にそって、発達してまいりました、しかし、弓、槍、又薙刀どころか、木の棒に比べても攻撃力はございません。いかなる名刀といえども、一丁の安物のピストルにはとうていかないません。刀を取って戦う時は、自らの命を捨てて戦わなければなりません。元々日本人は、決して自分か

ら先に相手を攻撃することではなく、しかし一旦受けてたつや、命を捨てて誇りを守る民族です。ですから古来より、刀は日本民族の象徴として、あらゆる武器とは別格の扱いを受けてまいりました。どうか日本刀は、単に人を斬るための道具ではなく、日本人の誇りを守る最後のものであり、自らの心を戒めるものである事を御理解下さるよう御願い申し上げます。そしてその為に私共刀工は、一生を賭けているのでございます。随分と偉そうな事を申し上げましたが、私共刀工が今日、實際上何の役にも立たない刀に、何故必至に取り組んでいるかお判りいただけたら幸いです。さて、よい刀を作るためにはよい鉄が必要です。この鉄という金属ぐらい、不思議な金属はございません。地球で一番多い元素だそうです。したがって、どこにでもあり、又いとも簡単に利用する事ができ、しかも極めて安価であるという事です。たとえばちょっとした飾りとか又、皆様方歯科医の先生方に御世話になる時ぐらいしか用のない金や銀に比べ、どれほど利用され役に立っているか、普段はほとんどそのあまりにも多すぎるために、その有難さを忘れられている鉄、もし地球に鉄がなかったとしたら又、ほんの少ししかなかったとしたら、人類はどんな文明を持ったのでしょうか。今日の人類の繁栄は、まさに鉄の文明と申してもよろしいでしょう。嬉しい事に我が国には古代より現代にいたるまで、常に世界有数の製鉄技術を持ち続けてまいりました。

有名なドイツのゾリンゲン、その素晴らしい設備の整った工場で作られた庖丁は、今日本でも考えられています、確かによく出来てますしよく切れます。しかし数万円いたします。ですがそれと同じくらい、いやもっと切れる庖丁や刃物を、日本の鍛冶は刀と同様の「たたら」製の日本鉄、玉鋼を鍛えて、いとも簡単に作っていました。オーバーに言えば、数千年の鉄の

歴史の違いでしょうか、今私がしきりに鉄、鉄と申していますが、正確に申しますと、鋼鉄というF・Cの合金であります。二つ以上の元素を合わせて合金にすると云う事は、大変高度の技術がいります。たとえばブロンズ、生産量の少ない銅にさらに少ない錫などを一定の割合に混入し、その上でいくつかの工程を経て作りますが、最高の品質のブロンズを作る事は、今日でもかなり難しい事です。ところが鋼鉄は、木炭でまず赤く焼きますと、木炭から発生した炭素が自然に混ざり合い、それを槌で叩いて余分の炭素やその他の不純物を火花にして飛ばしながら、同時に好みの形を作り、水で冷やせばでき上るという簡単な工程でできあがります。最もそれなりの経験と技術と勘はいりますが、私共鍛冶は皆、大学の冶金工学科を出てはおりません。さて製品を作るための原料鉄は、地中からこれを取って精製します。日本には二つの製鉄法がございました。一つは中国の戦国時代に始まった鉄礬石を原料として、高温で処理する方法で量産ができ、したがってコストも安く仕上がります。ただ残念な事に、あまり品質がよいとは云えません。もちろん鍋や鍬などを作る分には、何らさしつかえございませんが、刃物となりますとある程度の実用にはなりますが、やはり刃味とか耐力などかなり問題が残ります。最も量産がききますので、コスト面では有利であり、刀の場合にはたとえば戦国時代激しく消耗する様な場合には、この様な鉄を使いました。当然刀の品質も、次第に劣ってまいったわけですね、時代の要求が鉄の大量消費文明を作り出し、今日の製鉄法へと発展していきました。

もう一つはおそらく相当古い時代、インドあたりで始まり、主に揚子江以南で発達し、稲と共に黒潮の流れに乗って、我々の祖先が、えてきた砂鉄を原料として、低温で製精する南方来の製鉄法です。この製鉄法はいわば原始的な方

法で、割と簡単に作れますが、その反面歩止りが悪く、したがってコスト高になりますし、量産がききません。しかしこの砂鉄低温精製法で作りました原料鉄は、極めて高品質であり、これを用いて作刀いたしますとよい刀ができるわけですね。大昔の刀工たちは自分でそれを精製して刀やその他のものを作りました。この様な鍛冶を倭鍛冶と呼び、中国伝来の品質の劣る岩鉄礦を使う量産鍛を高麗鍛^{コマカスナ}と呼んで区別していました。日本刀はこの様に、本来日本の原点ともいえる古代倭の国に始まった倭鍛冶の、技術の頂点でもありました。真の名刀とは、よく斬れしかも折れず曲がらず美しくという条件を、兼備していなければなりません。一見何でもない事の様ですが、これは私共にとりましては大変な事なのです。よく斬れるためには、硬い鉄でなければいけません。しかし硬ければ折れやすく、折れない様にと軟かい鉄を使えば曲がりやすく又、斬れ味が鈍く美しさも出ません。この矛盾する二つの条件を、どのようにして融合させるかが、刀工の腕の見せどころでございましょう。最高の鍛刀法がほぼ完成いたしましたのが、鎌倉時代と云われています。刀に興味をお持ちでない方も、一度や二度は「正宗」とか「吉光」又は「備前長船何々」といった刀工名をお聞きになった事がございましょう。正宗は、硬軟二種の鉄を巧みに使い、名工の名を欲しいままにいたしました。しかし、鉄の大量消費の時代を迎え、次第にこの優れた技術も失われてしまいました。私が刀工として一人立ちいたしました頃は、丁度先の大戦の頃でございます。多くの若者たちが戦場へ送られて行きました。国を守るために戦う戦士の命を守るとは云え、私は実戦用の刀をたくさん作りました。私の作りました刀は、金剛兵衛本流の鍛えであるため、よく斬れしかも折れないと、高い評価を受け又、現代刀工番付表では西の横綱に推され、随分と

晴れがましい思いをしたものでございます。やがて敗戦となり、明治の廃刀令に次ぐ日本刀受難の時代を迎え、私は失意の貧底にありましたが、しかし私はこの素晴らしい日本文化の神髓がこのまますたれるはずはないと、固く信じ続けてまいりました。そして、平和な時こそ真の日本刀を鍛えるべきであると考え、一から出直そうと決心したのであります。一応目標を平安鎌倉期の名刀におき、古代製鉄法の研究を始めたのです。以来30年、いろんな苦勞もございましたが、ようやく自分なりに満足のいく砂鉄低温精製法を完成させ、上古代の倭鍛冶を偲び「倭吹製鉄法」と唱えております。現在は、原料鉄の完全自給をする事ができる様になり、後継の二人の息子たちとともに、研究を続け、心の及ぶ限りの真の日本刀を完成させたいと日夜精進いたしております。親しい友人の一人がある時「日本刀」の持つ美しさは、一歩鉄の利用法を過まれば人類の破滅につながる、鉄の持つ恐ろしい一面を表す恐怖の美だ、そしてその事を人間に警告する美である、と話してくれました。確かに一つの真理だと思えます。私は私の刀を御持ちいただく事により又、御覧いただく事により、古来よりこよなく平和を愛し続けた大和民族の一人として、日本に生まれた事を何よりも誇りとし、限りない喜びをお感じになっていただける様な真の日本刀を、命の続く限り作り続けてまいるつもりでございます。この世に日本がある限り猶日本に天皇がおわします限り日本刀もまた永遠に存続し続けることを固く信じて、何とぞ真の日本刀の姿の持つ意味を御理解下さいます様、心から御願い申し上げます。

私が常日頃考えていました事の一端を述べさせていただきます事ができましたことを、厚く感謝いたします。ありがとうございました。

「私の初夢」(歯科未来学)

東部3 岩村泰行

「オーイ」カーちゃん歯が痛くて仕様が
今日は会社を休むゾ、(なかにはこんな人が
いるでしょう)「だったら早く家にいないで病
院に行っていっちゃいヨ」「ウーンク」

「仮称口腔センター」

受付け

テレビ電話で診療の予約並びに現症について
病院に報告並びに申込みをする。病院のテレビ
電話で美人受付け嬢が院長の指示に従い家庭で
出来る一応の応急処置を教えてくれた上で来院
時間を教えてくれる。早速病院へ行くと備え付
けの用紙に必要事項に急いで印を付けて受付け
嬢に渡す。数分もたゝないうちに呼び出しのサ
インが出る。院内は明るく静かに心良い音楽が
流れている。急救コーナーへの指示サインであ
る。急救コーナー受付けに急いで行く。Dr が
早速第一受付けでの「カード」を見ながら問診、
Dr は必要事項をテキパキと記入、Dr「これ
を今直ぐ飲んで下さい」、と何んだかジュース
様のうまい飲物をくれた、数分とたゝない内に
痛みもとれ気分爽快となり何んだか雲の上にい
る様で気持ちも落ちついて来る(昔はいきなり
色々やられたそうであるが、痛い時に色々され
ると一層イライラして来て何を聞いたか、言っ
たかこちらは一向に分らないと云ったことがあ
ったらしい)私の他に2, 3人來ている様で案
外と少ない人数だ、突然外の方でせわしそうな
気配、外傷らしい、今時分交通事故なんかめず
らしい。道路も田舎の角々まで整備され信号機
なんてものもない。今の車はすべて自動化され
昔は車の持ち主が「ハンドル」とか云うものを
もってやっていたそうだ。自分の目的とする行

き先にセットしておけば車の持ち主は他の同乗
者と楽しく談笑したり、ゲームをしたり周囲の
景色を楽しみ乍ら快適に走行することが出来る
自分で「ハンドル」なるものを持って運転する
なんて全々ナンセンス、昔はガソリン」とか云
うもので走っていてオイルショックとか云うこ
とがあったらしい。交叉点はすべて立体交叉、
センターからの自動制御装置による電波で各車
ゴー、ストップが行われているので最近交通
事故なんか全くめずらしい、空には自家用ヘリ
コプターが音もなく飛び交わしている。

口を開けると半円板状のものを入れられた。
聞くとところによればこれで私の口腔内のすべて
の状態を記録するものだそうだ。

1. ウ触探知器 2. 温冷熱反応器 3. 色
調探知器 4. 口腔粘膜の厚さ及び硬さ並びに
その分布状態 5. 各歯牙の灰化度数計 6. 歯
窩形態測定器 7. 咬合圧測定器 8. 咬合高
径測定器 9. プラーク並びに細菌検査 10.
唾液PH測定器、昔はいちいち毎回ごとにやっ
ていたそうだが今は一回でこれ等が済むそうだ。
他の室に案内されたがここでは超音波によって
皮膚並びに骨の状態を調べる。これも昔は「レ
ントゲン」とか云うものでやっていたらしい。

以上これ等の諸検査はすべて「コンピューター」
に入力され、数分後には総合診断される。又これ等
は「マイクロフィルム」にファイルされて次回アポ
イント(これもテレビ電話でコンピューターと連動
して自動的に行われるので忘れることなく、又リ
コールもこれで行われる)永久保存されて私の子
供又は子孫が再び訪れる時にも役立つ様になっ
ている。(後年再度

来院の時は「マイクロフィルム」に保管されているので過去のデータは直ぐ参考にされる)
次に口腔清掃指導コーナーへ、昔は「ウォーターピック」「ポルタデント」等でやっていた様であるが、今はこれも車の自動洗車装置に超音波を組み入れた様なもので一気に、しかも快適にやってくれるので更に気分爽快である。

今朝の飲物?で痛みは全く忘れた様になっているので何んともない。

こゝで初めて主訴である臼歯の治療が始った(昔は高速切さく器エヤタービンとかでやっていたらしい)先づ私の上下の顎を固定するものがはめられた。次に横の方からペン様のものが口腔内に入って齲蝕の箇所を噴射している様だ(レーザー光線か?高周波か?)次に再び別の色をした「ペン」様のものが口腔内に入って窩洞に充填している。終了のブザーと「ランプ」がついた。昔はアマルガム、金、硬質レジン、陶材等がつかわれていたそう。今は色も硬さも全く歯牙と同様なものが短時間に充填される。自分の頬をなでながら帰路につく、家に帰って隣の奥さんに聞いてみたら全くおはづかしいのですがと云い乍ら、御自分の口を開けてみられたが前歯及び臼歯の「ブリッジ」が入れているそうであるが、全くそれを見分けることが出来ない。高分子化学の勝利であろう。総義歯と

いうものが先日博物館に行った時チョッと見た様な気がする。今は乳歯時代及び義務教育時代にレーザー光線による予防処置が行われ、又齲蝕免疫剤も開発されている。これ等はすべて国家事業の一つとして義務づけられ保険でやってもらえる。その後何んらかの理由で私の様に悪くなった場合には、すべて自費でやらねばなりません。これは私の衛生管理の手落ちで、自分のことは自分でやる当然のことでしょう。止むを得ません。昔は何んでもかでも保険保険で他人まかせ、その為国家の財政まであやぶまれ、赤字に悩み、保険の改正といえはたゞこの赤字解消のための改正が行われていた時代があったとか、何時か図書館の文献にみた事がある。大蔵大臣と厚生大臣の一騎打ちとか、今からみると漫画の様です。それにしても今回病院に行ってみて感じたことは単なる機械文明でなく、院内は明るく温度湿度空気の流れ、又軽い音楽や草花があり、人を大事にしてあり、又看護婦や医者の患者に対する態度、治療内容、まったく驚くことばかりでした。帰って来たこの一日がとっても楽しく、家族一同食卓を囲こんで団欒の一夜をすごし医院並びに医院の人々に感謝している次第です。

以上各論を夢みつゝ夢物語りでした。



委員会活動

熊本市歯科医師会

バレーボール大会

厚生委員 田 島 宗 穂

去る7月20日熊本商科大学体育館に於て支部対抗9人制男女混合バレーボール大会が行われた。此の競技会は市歯科医師会主催による、会員家族及び従業員等によるレクリエーションとして、健康増進とチームプレーの楽しさを目的とし今回で第3回目となり、各支部チームごとにユニホームを揃え、又、試合前の練習に余念がなかった。

選手は、老も若きも元気一ぱい汗をかき声を

出し、其のプレーぶりは白熱をおび応援団からの声援にこたえる様に、清涼感あふれるさわやかさがあつた。

支部長先生方の御苦勞は限りないものと思われますが、支部対抗で催す試合は他に無く楽しみも倍加するように思います。

最後に今大会に支援された商大バレーボールOB会に感謝。

試合結果は下記に

予選リーグ

決勝リーグ

A パート	1 東 3	2	$\begin{bmatrix} 15 & \text{---} & 6 \\ 15 & \text{---} & 5 \end{bmatrix}$	0	2 南 部	1位 東 3
	2 南 部	0	$\begin{bmatrix} 14 & \text{---} & 16 \\ 13 & \text{---} & 15 \end{bmatrix}$	2	3 西 部	2位 北 部
	3 西 部	0	$\begin{bmatrix} 15 & \text{---} & 17 \\ 10 & \text{---} & 15 \end{bmatrix}$	2	1 東 3	3位 南 部
B パート	1 北 2	0	$\begin{bmatrix} 5 & \text{---} & 15 \\ 6 & \text{---} & 15 \end{bmatrix}$	2	2 中 央	1位 中 央
	2 中 央	2	$\begin{bmatrix} 15 & \text{---} & 5 \\ 15 & \text{---} & 0 \end{bmatrix}$	0	3 北 1	2位 北 2
	3 北 1	0	$\begin{bmatrix} 1 & \text{---} & 15 \\ 8 & \text{---} & 15 \end{bmatrix}$	2	1 北 2	3位 北 1
C パート	1 東 4	2	$\begin{bmatrix} 15 & \text{---} & 7 \\ 15 & \text{---} & 10 \end{bmatrix}$	1	2 東 2	1位 東 4
	2 東 2	2	$\begin{bmatrix} 15 & \text{---} & 11 \\ 15 & \text{---} & 6 \end{bmatrix}$	0	3 東 1	2位 東 2
	3 東 1	1	$\begin{bmatrix} 15 & \text{---} & 11 \\ 13 & \text{---} & 15 \\ 15 & \text{---} & 17 \end{bmatrix}$	2	1 東 4	3位 東 1
決勝リーグ	1 東 3	2	$\begin{bmatrix} 12 & \text{---} & 15 \\ 15 & \text{---} & 7 \\ 15 & \text{---} & 3 \end{bmatrix}$	1	2 東 4	1位 東 3
	2 東 4	0	$\begin{bmatrix} 8 & \text{---} & 15 \\ 13 & \text{---} & 15 \end{bmatrix}$	2	3 中 央	2位 中 央
	3 中 央	1	$\begin{bmatrix} 15 & \text{---} & 12 \\ 8 & \text{---} & 15 \\ 10 & \text{---} & 15 \end{bmatrix}$	2	1 東 3	3位 東 4
決勝リーグ	1 西 部	0	$\begin{bmatrix} 5 & \text{---} & 15 \\ 14 & \text{---} & 16 \end{bmatrix}$	2	2 北 2	4位 東 2
	2 北 2	1	$\begin{bmatrix} 4 & \text{---} & 15 \\ 15 & \text{---} & 12 \\ 6 & \text{---} & 15 \end{bmatrix}$	2	3 東 2	5位 北 2
	3 東 2	2	$\begin{bmatrix} 15 & \text{---} & 11 \\ 15 & \text{---} & 8 \end{bmatrix}$	0	1 西 部	6位 西 部
決勝リーグ	1 北 1	0	$\begin{bmatrix} 10 & \text{---} & 15 \\ 10 & \text{---} & 15 \end{bmatrix}$	2	2 東 1	7位 東 1
	2 東 1	2	$\begin{bmatrix} 17 & \text{---} & 15 \\ 15 & \text{---} & 3 \end{bmatrix}$	0	3 南 部	8位 北 1
	3 南 部	1	$\begin{bmatrix} 11 & \text{---} & 15 \\ 15 & \text{---} & 2 \\ 13 & \text{---} & 15 \end{bmatrix}$	2	1 北 1	9位 南 部









秋の歯科無料検診

口腔衛生委員長 関 剛 一

口腔衛生委員会では11月16日(日曜AM 10:00~PM4:00)秋の歯科無料検診を鶴屋6F特設会場にて行った。例年口腔センター内で行って来たのであるが、マンネリ化して来ている様でもあり、この際センター外で無料検診をしてみてもという口腔衛生委員の一致した声で鶴屋にて行ったのである。

検診総数は291名とこれまでになく多数にのぼり、委員各氏全くの暇のない状態であった。何よりも成人の被検診者が多かった事が例年と異なり、その為検診内容も豊富であり又健康相談もバラエティー富んだものが多かった。委員会ではう蝕予防を中心とした各種歯科啓蒙活動を各所で行って来ているのであるが、現段階に於てはこの様な啓蒙活動方法をより多く行う事により一般大衆の中にう蝕予防が浸透して行くのではなかろうかと考えるし、又歯科医師と大衆との結びつきもより強固になるのではなかろうかと思う。

秋の歯科無料検診内容

1. 無料検診
2. 歯の健康相談
3. 刷掃指導
4. 無料フッ素イオン導入
5. パネル展示・パンフレット配布

検診結果

1) 被検診者数 (名)

	総 数	男	女
総 数	291	116	175
乳 歯 (1才~15才未満)	175	85	90
永久歯 (5才以上)	140	43	97
乳歯+永久歯(5~15才未満)	24	12	12

2) むし歯の処置状況別にみたむし歯有病者率

(%)

		むし歯有病者総数	処置完了者	処置歯・未処置歯併有者	未処置の者
乳 歯 (1~15才未満)	総数	49.14	8.59	16.56	23.98
	男	49.40	9.41	16.47	23.52
	女	48.88	7.78	16.66	24.44
永 久 歯 (5才以上)	総数	87.87	32.01	45.41	10.45
	男	86.04	37.21	37.21	11.62
	女	89.70	26.81	53.61	9.28
乳歯+永久歯 (5~15才未満)	総数	91.66	33.33	37.50	20.83
	男	91.66	50.00	25.00	16.66
	女	91.66	16.66	50.00	25.00

3) 歯肉、歯牙排列、口腔内衛生状態のチェック、その他

4) 被フッ素イオン導入者総数ー163名 スタッフ

口腔衛生委員会 中根俊吾 関 剛一
鈴木勝志、坂梨常太郎、松本一之、
青木道育、奥村敏之、寺脇博、津田勝久
歯科衛生士会 中村エツ会長他9名
衛生士学院生徒 8名

尚今回の無料検診にあたり、歯科衛生士会、学院生徒の協力、鶴屋百貨店の会場提供、各種広報、多数の看板作製にあたり感謝する次第である。

住 所	氏 名
明治 大正 昭和	性 別
年 月 日生	男 女

8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8
8	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8

E	D	C	B	A	A	B	C	D	E
E	D	C	B	A	A	B	C	D	E

- 歯 肉
- 排 列
- 衛 生

貴方の口腔検診の結果は

- 歯ミガキがうまく出来ていません。
正しく、ていねいにみがきましょう。
- 虫歯が出来ています。
- 歯肉がわるくなっています。
- 歯並びが良くないようです。
- 義歯を入れた方が良いでしょう。

上の通りですから早い機会に専門の先生に御相談下さい。

熊本市歯科医師会









昭和55年度社団法人熊本市歯科医師会 臨時總會報告

場 所 熊本市歯科医師会館 3階ホール
日 時 昭和55年11月18日(火)
午後7時30分

1. 開 会

山室専務理事より総会員数236名中、出席55名、委任状100名という報告があり、以上により総会成立

2. 会長挨拶

川崎会長より挨拶

3. 議長選出

執行部一任により議長に河野好孝先生

4. 議事録署名人選出

議長一任により議事録署名人に
木村義浩先生、伊東隆利先生

5. 定款改正委員長報告

久保田三男先生より10月17日定款委員会を開き、県の定款改正の要請にもとづき委員会で作成した。P16から先は、県の

方で定款を作成しなおされた時、削除されたりで条文がなくなったため、10条が9条になったりで訂正を報告された。

これを10月20日に答申。

6. 代議員議長審議経過報告

坂本一夫先生より定款一部改正の件が承認された事を報告された。

7. 議 事

山室専務理事より定款一部改正について、改正条文を詳細に説明された。

第23条で質問があり、「役員及び」が何の役員だかはっきりしないということで、下記の様に訂正

第23条 ① 熊本市歯科医師会の代議員は、「熊本市歯科医師会の役員及び」代議員の中から3年毎に選出する。

8. 協 議

9. 閉 会

〔新〕	〔旧〕
P 5 任期 第19条 役員の任期は<u>3年</u>とし、選任された年の4月1日に始まる。	任期 第19条 役員の任期は<u>2年</u>とし、選任された年の4月1日に始まり隔年3月31日終る。

P11 附則

この定款は認可の翌日 昭和54年4月15日から施行する。

附則

- 1) この定款は主務官庁の認可の翌日（昭和 年 月 日）から施行する。
- 2) この改正定款施行の際の役員、及び代議員は、この改正定款による役員及び代議員とみなす。ただし、その任期はそれぞれの改正前の定款による残任期間とし、56年度に限り役員、代議員、その他の全ての役職の任期は1年間とする。

P16 第12条

臨時委員会の委員の定数等については、第9条第1項及び第2項の規定を準用する。

第13条

- 2) 特別の委員の定数については第9条第1項の規定を準用する。

P17 第15条

第10条規定は臨時委員会及び特別委員会に準用する。

第16条

- ② 委員は選挙規則第6条に規定する選挙権及び被選挙権を有する者の中から代議員に諮り、会長が委嘱する。
- ③ 委員の任期は3年とし、委嘱された

附則

この定款は許可の翌日から施行する。

第12条

臨時委員会の委員の定数等については、第10条第1項及び第2項の規定を準用する。

- 2) 特別の委員の定数については、第10条第1項の規定を準用する。

第15条

第11条規定は臨時委員会及び特別委員会に準用する。

第16条

- ② 委員は選挙規則第7条に規定する選挙権及び被選挙権を有する者の中から代議員会に諮り、会長が委嘱する。
- ③ 委員の任期は2年とし、委嘱された

年の4月1日をもって始期とする。 ただし、補欠委員の任期はその前任者の残任期間とする。	年の4月1日をもって始期とする。 ただし、補欠委員の任期はその前任者の残任期間とする。
P18 附則 この規則は（昭和 年 月 日） から施行する。	
P21 第4条 ⑥ 委員及び予備委員の任期は<u>3年</u>とし 委嘱された年の4月1日始期とする。	第4条 ⑥ 委員及び予備委員の任期は<u>2年</u>とし 委嘱された年の4月1日始期とする。
P26 第21条 ③ 選挙管理委員会は、所定の様式により選挙録を作成し、投票紙と共に<u>3</u> <u>ヶ年間</u>保存する。	第21条 ③ 選挙管理委員会は、所定の様式により選挙録を作成し、投票紙と共に<u>2</u> <u>ヶ年間</u>保存する。
第23条 ① 熊本県歯科医師会の代議員は、熊本市歯科医師会の役員及び代議員の中から<u>3年毎</u>に選出する。	第23条 ① 熊本県歯科医師会の代議員は、役員及び市歯代議員の中から<u>2年毎</u>に選出する。
P27 附則 この改正規則は、<u>昭和54年4月15日</u> から施行する。	附則 この改正規則は、<u>昭和54年4月1日</u> から施行する。

熊本歯科臨床集談会（御案内）

○テーマ「咬合の理論と実際」（実習を予定しております）

九歯大教授 豊田 静夫教授

○日時 昭和56年1月24日（土）、25日（日）

2月28日（土）、

3月1日（日）

○場所 熊本県歯科医師会館

日本人の寿命も延び高齢化社会の時代となりつゝあります。このことは私共歯科医療の立場から申し上げますと、無歯顎患者がふえると云うことになるのではないのでしょうか。（勿論全部がそうなるわけではありませんが）、又社会福祉も一層強化され、謂ゆる（老）患者がふえることでしょう。然し乍ら人生の後半老後を快的にすごす為にはより良く口腔の機能を恢復し食事を楽しむより健康に過ごさせるのが私共の使命ではないかと思ひます。そこで総義歯の見直しをやり一層勉強をやる必要があろうかと思ひます。

○テーマ「医療管理」

稲岡 勲先生

○日時：56年1月31日（土）、2月1日（日）

○場所：熊本厚生年金会館

国家財政の建て直し等々増税又増税と今後税務問題は一層厳しさを増し、むつかしくなる昨今であります。又歯科大学の増設にともない歯科医師数の増加、その他色々の条件が重なって参り、私共はその経営には無関心では済まされない状態にあります。医療管理をどうするか、患者管理、人事管理、物品管理等々数多くの管理を充分勉強しておく必要があります。今回は特に経理管理について勉強してみたいと思ひます。経理担当者、会員諸先生方と共に特に奥様方の御参加を希望致しております。

以上熊本歯科臨床集談会の行事予定を記しておきます。

熊本歯科臨床集談会

会長 岩村 泰行

追伸 第26回 西日本歯科矯正学会

担当 佐賀県

「下顎前突」を主題とした学会を企画されています。



編 集 後 記

新年明けましておめでとうございます。
期待された1980年も「あっと」いう間に過ぎてしまい、81年のトリ年を迎えました。会員の先生方におかれましても、年を一つでも二つでもトリ、若くなられて、地域医療に貢献なされますようお願い致します。

広報委員会

熊本市歯科医師会会誌

第 35 号

発行日 昭和56年2月10日発行

発行所 熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (43) 6669

発 行 川 崎 正 士
責任者

印刷所 株式会社 太 陽 社

熊本市新大江2丁目5-18

TEL (66) 1251